

1. 件名：日本原子力発電株式会社 東海発電所及び東海第二発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日時：令和6年1月11日(木) 14時00分～16時35分

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者 (テレビ会議システムによる出席)

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎調整官、反町専門職、蔦沢専門職、沼田専門職、酒井専門職

日本原子力発電株式会社

発電管理室 警備・防災グループ グループマネージャ 他6名

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所 保安管理部危機管理課 技術副主幹
他2名

5. 要旨

日本原子力発電株式会社から、令和6年2月13日及び14日に予定されている同社東海発電所及び東海第二発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的及び達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施体制及び評価体制
- ・ 訓練の項目と内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・ 訓練シナリオ

原子力規制庁から、以下についてコメントし、日本原子力発電株式会社から、資料修正の上、再提出する旨の回答があった。

- ・ 東海発電所の訓練シナリオは、原子力災害医療のみならず、他の原子力災害の要素も追加すること。
- ・ 判断分岐フローチャートについて、訓練のねらいを具体的に記載すること。また、プレイヤーが適切ではない対応を実施した場合に抽出できる課題を記載すること。
- ・ 現場実動訓練の作業ステップとマルファンクションリストの間の紐付けを明示すること。

6. その他

配布資料：

- 資料1 東海発電所原子力防災訓練（第1部）・東海第二発電所原子力防災訓練計画説明に係る面談（5週間前）時の確認事項
（日本原子力発電株式会社）
- 資料2 令和5年度核燃料サイクル工学研究所 総合訓練シナリオ概要
（日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所）